

気軽にご相談ください



教育に関する相談窓口一覧

	内 容	方法	日 時 等	問 合 せ
教育相談	不登校やいじめなど、教育に関する相談をお受けします。 また、障がいのあるこどもの、学校・家庭での対応や配慮、就学や進学など、特別支援教育に関する相談をお受けします。 基本的には学校園と連携して相談を進めていきます。	面談 (要予約)	月曜日～金曜日 (祝日、年末年始を除く) 9:00～17:30	こども相談センター(総合相談窓口) ☎4301-3100 FAX 6944-2060
スクール カウンセラーに よる相談	不登校やいじめなどを中心に、こどもや保護者等の相談をお受けします。	面談 (要予約)	月曜日～金曜日 (祝日、年末年始を除く) 9:30～17:15	所属の学校園に話しにくい場合等は、 こども相談センターにご相談ください。 ☎4301-3141 FAX 6944-2064
電話教育相談 【こども専用】	悩みなどについてこども自身からの相談をお受けします。	電話	月曜日～金曜日 (祝日、年末年始を除く) 9:00～19:00	こども相談センター 電話教育相談(こども専用) ☎4301-3140
電話教育相談 【保護者専用】	不登校、いじめなど、こどもの教育に関する問題について相談をお受けします。			こども相談センター 電話教育相談(保護者専用) ☎4301-3141
24時間電話 いじめ相談	いじめに関する相談をお受けします。	電話	毎日24時間	24時間電話いじめ相談(全国共通) ☎0120-0-78310 *一部のIP電話からはつながりません。
メール 教育相談	不登校やいじめ等の悩みについて、相談をお受けします。 相談の返答は1回のみで、原則として一般的な理解や情報提供にとどまります。	電子メール 『大阪市電子申請システム』を使用して、メールを送ります。	毎日24時間 相談の返答は、5日程度(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)を要します。	こども相談センター 詳細は 大阪市 メール教育相談 検索

■ こども相談センター：中央区森ノ宮1-17-5 同センターでは、心身の発達の心配、家庭での養育困難、家出、児童虐待、子どもの福祉などの相談・援助も行っています。

大阪市塾代助成事業をご利用ください！

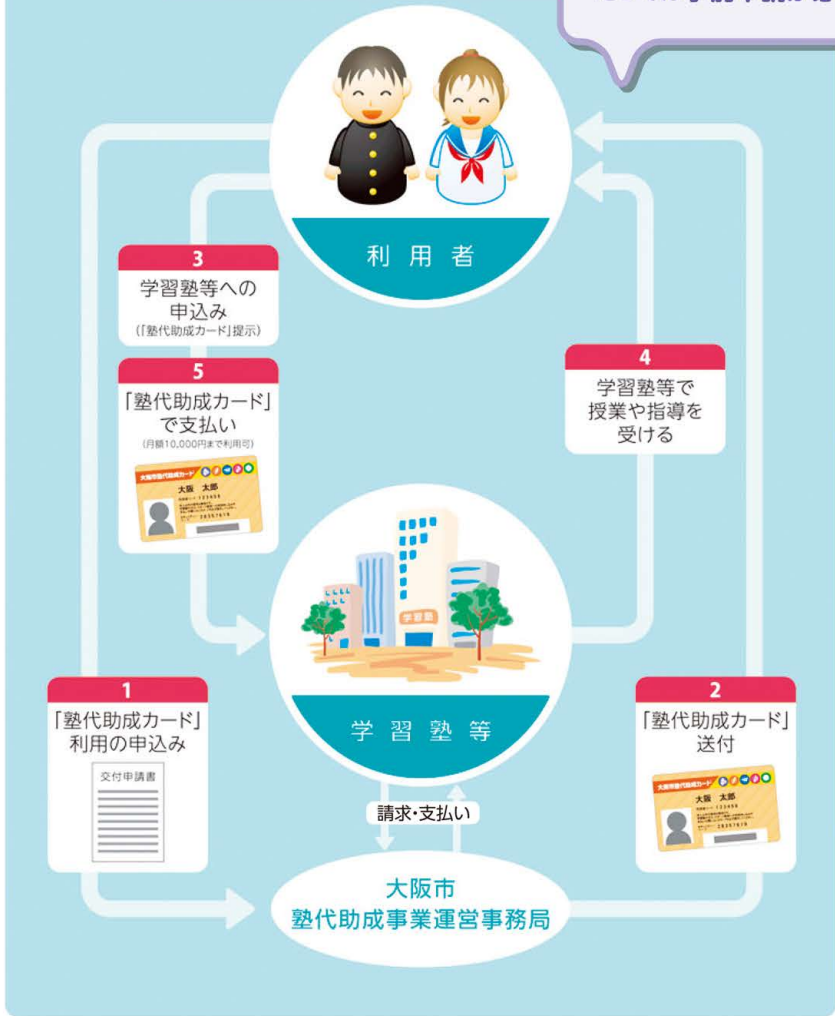
大阪市では、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、こどもたちの学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供するため、学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室等の学校外教育にかかる費用に対し、**月額1万円まで利用できる塾代助成カード**を交付する「塾代助成事業」を実施しています。

塾代助成カードの交付対象者

- ・大阪市内に居住している中学生を養育している方
- ・中学生の養育者とその配偶者の平成28年中の所得金額の合計が、大阪市が定める所得制限限度額未満であること

現在、区内で約70箇所、全体で約2,470箇所の教室等で利用が可能です。利用にあたっては事前申請が必要です。

塾代助成事業のご利用イメージ



詳細は 大阪市 塾代助成 検索

学校配置の適正化について

～子どもたちにより良い教育環境を～

現在、大阪市の児童数は、減少傾向となっており、児童の良好な教育環境の確保や教育活動の充実を図る上で、学校配置の適正化(統合)を進めることが大きな課題となっています。

なぜ適正化が必要？

子どもたちにとって、より良い教育環境を確保し、教育活動の充実を図るため、学校は一定の集団規模が望ましいと考えられます。

★より良い教育環境とは…

- ・クラス替えを行い、多くの人と触れ合うことで、社会性やコミュニケーション能力、向上心等が高まる。
 - ・切磋琢磨する環境の中で、学力や学習意欲が向上する。
 - ・男女比の偏りが少なくなり、多様な意見に触れる機会が増える。
 - ・グループ学習や班活動が活性化する。
 - ・クラブ活動や部活動の種類が限定されない。
 - ・より多くの教職員が多面的な観点で指導できるようになる。
 - ・校内研修が活性化し、教職員間で協力して指導にあたる意識や互いの良さを取り入れる意識が高まる。
- などがあげられます。

東成区の現状は？

東成区でも長年の少子化傾向に起因する児童数の減少の結果、小学校の小規模化が進行しています。

東成区内市立小学校の児童数等の推移

	昭和54年度	平成29年度	増減
児童数	7,386人	3,368人	▲54.4%
学校数	11校	11校	±0
学級数	196学級	113学級	▲42.3%

今後の適正化の進め方は？

- 平成22年2月の「大阪市学校適正配置審議会」の答申では、**11学級以下の小学校が適正化(統合)の対象です。**
- 学校配置の適正化を円滑に進めるためには、保護者や地域住民の理解と協力が不可欠です。より良好な教育環境を構築する観点で、保護者や地域住民が主体的に学校づくりに関わっていただけるような環境づくりを進めるとともに、保護者・地域住民や学校長の意見を聞きながら取り組んでいきます。